

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那大島駅開業100周年記念事業
事業主体 (連絡先)	伊那大島駅開業100周年記念事業実行委員会
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,138,134 円 (うち支援金: 746,000 円)

事業内容

- ①伊那大島駅開業100周年記念イベント (プレイベント)
令和3年10月29日(金)～10月31日(日)
会場: 松川町中央公民館 えみりあ 来場者数: 742人
- ②伊那大島駅開業100周年記念イベント (メインイベント)
100周年記念特別団体臨時列車の運行
令和3年11月14日(日) 伊那大島駅発
停車駅: 金野駅、田本駅、為栗駅、中井侍駅、小和田駅他
定員: 107人 (キャンセルにより101人)



【特別列車の集合写真/平岡駅】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①プレイベントでは、開業時から現在までの鉄道写真や飯田線誘致のための活動文書展示、飯田線開通まで紙芝居公演等を通じて、先人の苦勞と、その延長線上にもたらされた発展について伝えることができた。更に、JR東海 中央新幹線長野工事事務所によるリニア関連のコーナーを設けることで過去/現在/将来をつなげることができた。また、小中学生の絵画コンテストを行ったこと、鉄道模型の展示/走行など遊びの要素も加え、子どもたちの関心も高められた。
- ②記念列車には100人が乗車したので、直接的効果は100人増であるが、JR飯田線および上片桐駅・伊那大島駅の存在の必要性・重要性を認識してもらうことを目的に実施したプレイベントでの参加者を合わせ計850人に、JR飯田線を利用することが維持存続と活性化をもたらすということをアピールすることができた。

- ①JR飯田線および上片桐駅・伊那大島駅の存在の必要性・重要性を認識すること。
- ②地域公共交通の維持存続とJR飯田線の活性化。

※自己評価【 B 】

【理由】

2つの事業の参加者予定数2,000人を見込んだが、コロナ禍や列車ヘッドマークの当日まで非公開の影響を受け850人に留まった。また、真の効果は、将来のJR飯田線の利用増であり、まだ読めないためBとした。

今後の取り組み

JR飯田線の継続維持と町内の駅活性化のためには、一定数の利用者が必要であり、そのために我々にできることは、駅100周年の節目に行った今回のような大規模イベントでなくても、今回のイベントと同様の目的の活動が重要であると考えている。

そこで、令和4年度以降もJR飯田線の継続維持と町内の駅活性化に繋がる活動(実施した記念事業について振り返り見てもらうための写真の展示、伊那大島駅切符入れ、新スタンプおよびスタンプ押印用紙の企画・制作等)を行うことを考えている。